

なかつがわ



令和3年 中津川市議会 3月定例会

市の花 サラサドウダン



オンラインによる議員連絡協議会 議長・副議長は市役所で、各議員は自宅から参加。

目次

- 令和3年度予算の規模と市税&借金(市債)の前年度比較・②
- 令和3年度予算の目玉事業……………③
- 当初予算各部の主な取組みと議会の所見……④
- 予算決算委員会報告(補正予算)……………⑥
- 議案……………⑨
- 常任委員会報告……………⑭
- 特別委員会報告……………⑮
- 一般質問……………⑰
- 編集後記他……………⑳

トピックス

- **令和3年度一般会計当初予算**
381.5億円(対前年比▲0.7%減)
引き続き新型コロナウイルス感染症対策(ワクチン接種を含む)予算を盛り込んでいます。
- **オンラインによる議員連絡協議会実施**
中津川市議会では、災害時などにも対応できるように勉強を兼ねてオンライン会議を実施しました。

中津川市 令和3年度予算の 目玉事業

一般会計予算

381.5億

▶活気あふれるまち

創設

未来のまちを描くお手伝い
宅地開発補助制度

創設

畜産の将来を支える獣医師の確保
獣医師奨学金制度

▶人々がかがやくまち

小中学校でいよいよ始まる
**タブレット端末を活用した授業
教員用のデジタル教科書 導入**

地元の木を使った**木造校舎**
**(仮称)新ふくおか小学校と
児童保育所整備 建築工事に着手**

創設

まちの福祉を支える**介護人材を確保**
介護福祉士修学支援制度

▶やすらぐ自然につつまれたまち

**新斎場の建設に
向けた調査等の実施**

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の実施〔補正対応済〕
スーパープレミアム付き商品券販売〔補正対応済〕
新型コロナウイルス感染症対策
スクールサポートスタッフを拡充配置
各種事業で Web を活用

▶リニア開業に向けた基盤整備

中心市街地に交流、学び、にぎわいの拠点

**(仮称)市民交流プラザ整備
建築工事に着手**

令和5年度オープン予定



▶若者の地元定着・移住促進の強化

創設

中津川に住もう！

**若者世帯の
住宅取得を支援**

地域で子育てを応援します

**子育て支援センター
蛭川地区に新設**

担い手を確保し**地域を守る**

**林業従事者等への
就労支援と移住支援**

地域産材の活用で、
最大100万円補助

【住みたい田舎】ランキング

東海エリア **総合1位**

令和3年度予算の規模と市税&借金(市債)の前年度比較

全会計の合計：764億369万5千円(対前年比0.3%減)
一般会計：381億5,000万円(対前年比0.7%減)

(単位：千円、%)

	令和3年度		令和2年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	38,150,000	49.9	38,432,000	50.2	△282,000	△0.7
特別会計	17,417,113	22.8	17,027,202	22.2	389,911	2.3
企業会計	20,836,582	27.3	21,150,472	27.6	△313,890	△1.5
合計	76,403,695	100.0	76,609,674	100.0	△205,979	△0.3

税収：市税

(単位：千円、%)

区分	令和3年度	令和2年度	比較	
市税	9,431,270	10,141,151	△709,881	△7.0%
うち市民税	3,498,426	4,078,361	△579,935	△14.2%
うち個人市民税	3,098,826	3,597,100	△498,274	△13.9%
うち法人市民税	399,600	481,261	△81,661	△17.0%
うち固定資産税	4,668,047	4,780,935	△112,888	△2.4%
うち都市計画税	516,881	529,759	△12,878	△2.4%

借金(市債)の借入と返済

(単位：千円、%)

区分	令和3年度	令和2年度	比較		令和3年度予算	
借金(市債)	4,101,089	3,366,400	734,689	21.8%	借入額(市債)	4,101,089
施設整備のための借金(市債)	2,325,900	2,349,100	△23,200	△1.0%	借金の定期償還額	3,916,264
					うち元金	3,740,766
					うち利息	175,498
臨時財政対策債	1,775,189	1,017,300	757,889	74.5%	借金残高	35,245,530

主な大型事業一覧

(単位：千円、%)

	令和3年度 予算額	特定財源					令和2年度 予算額	増減
		国・県 支出金	繰入金	譲り入金	市債	一般 財源		
リニア関連道路整備	647,284	259,500	13,900	11,200	314,900	47,784	737,650	△90,366
リニア駅周辺土地区画整理	505,129	81,900	212,343	1		210,885	207,158	297,971
中心市街地活性化拠点整備	689,820	326,800			329,200	33,820	85,506	604,314
青木斧戸線道路整備	308,801	131,000			141,700	36,101	649,000	△340,199
(仮称)神坂マ-IC	446,915	188,000			178,600	80,315	746,000	△299,085
(仮称)新ふくおか小学校建設	567,540	191,175			357,500	18,865	125,776	441,764

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【リニア都市政策部】

□リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会を中心にして、沿線地域対策事業・関連道路・残土処分対策などを市とJR東海、中部電力などとの連携を密にして検討を深め課題を克服して進めます。

■リニア中央新幹線の事業は、大きく前進し始めました。市民への丁寧な説明を行ないながら、各地の状況や経験を収集し進捗させるようお願いいたします。

【環境水道部】

□環境センターの安定的な稼働に向けて、大規模修繕して稼働させるとともに、二酸化炭素排出量を低減させていきます。住宅用太陽光発電設備、薪・ペレットストーブなどの導入支援を進め、ごみ減量・資源化の推進をします。

■持続可能な社会を目指し、市と市民が力を合わせて環境整備に取り組むことが必要です。その先進地域からモデル的な経験を生かしましょう。

【教育委員会】

□GIGAスクール構想により、令和2年度中に1人1台の端末、校内通信ネットワークの整備が完了し、すでに授業で活用しています。幼児教育においては、令和3年度中に、私立こども園1園と保育園2園の施設整備が計画されています。

■デジタル教科書や資料を有効に活用し、子どもたちの学力向上に努めていただきたいと思います。私立の園とも連携しながら幼児教育の充実を進めていただきたいと思います。

【文化スポーツ部】

□「学び、活かす市民」を育むため、生き生きとした人づくりの実現を目指します。(仮称)市民交流プラザの図書館は、知識の習得や郷土の歴史文化を学習できる空間を整備します。また、公民館を核とした活動を通じ、地域を担う人づくりを支援します。

■将来の中津川市を担う若者を育成するためにも図書館の整備は欠かせません。充実した内容、利用しやすい図書館となるよう期待します。「人づくりが、街づくり」。地域を担う人づくりが、将来の中津川市を創ります。公民館を核とした「人づくり」に力を注いでいただきたいと思います。

【建設部】

□国道19号と国道257号を結ぶ青木斧戸線の整備、広域連携を実現する(仮称)神坂PAスマートインターチェンジの整備事業、既存の道路や河川などの維持管理を含め、市民の安心・安全の確保を推進します。

■青木斧戸線整備建設は長い間の市民の要望であり期待している、スマートインターチェンジは落合神坂やさか地区・木曾南部など広域的な要望であり、着実な進捗を望みます。

【消防本部】

□「災害に強いまちづくりのため、持続可能な消防体制の整備」を図るため、消防用施設や設備の整備、救急業務高度化体制の確立、消防団との連携強化及び団員の確保、防火安全対策の積極的な推進に努めてまいります。

■新型コロナウイルス感染症対応での救急体制や、災害対応は職員の負担も大きいと思いますが、ドクターカーや消防団との連携を強化し、市民の安心安全のため、災害に強いまちづくりのための取り組みに期待しています。

【商工観光部】

□「若者の地元定着・移住促進の強化」に向け、まちづくりのけん引役として、働く場の創出、まちなかにぎわい創出、観光誘客の促進の3つを施策の柱として取り組みます。さらに、「新型コロナウイルス感染症への対策」について、市内事業者への状況を的確に判断しつつ、事業継続に必要な対策の実施とwithコロナ時代に対応した振興策を進めます。

■令和2年度は、新型コロナウイルス感染症で市民の方々ももとより、事業者の方々も苦しい年となってしまいました。終わりの見えないなかですが、できる限りの支援と、確実な庁内の連携を図っていただくようお願いいたします。

【市長公室】

□人事課として、「働き方改革の推進」を進め、「定員適正化計画の見直し」と令和4年度に向けた組織改革、「ワークライフバランスの推進」、「職員の健康管理」に取り組みます。

■新型コロナウイルス感染症関連の対応で、事務作業の負担が増えています。職員の健康面、特にメンタルヘルスにも十分に注意を払い、「働き方改革の推進」に取り組んでいただきたい。定員適正化の見直しでは、行政事務のデジタル化と併せて、市民サービスへの低下を招かないよう取り組んでいただきたい。

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【総務部】

□「リスクマネジメント」に心掛け、防災減災を推進し地域防災力の向上に努めてまいります。また行政手続きの押印の見直し、事務手続きのデジタル化の活用で市民の利便性向上の取り組みを進めてまいります。

■厳しさを増す自然災害とコロナ禍での避難について、市民の安心安全のための取り組みに期待します。また、押印の見直しや行政事務のデジタル化で市民の利便性の向上を期待しています。

□大型事業には、国・県補助金の獲得や有利な地方債の活用で財政負担の抑制に努めていきます。新型コロナウイルス感染症の対応には国の交付金等を有効活用してまいります。また、市有財産(施設)管理運用マスタープランの進捗管理を進めていきます。

■新型コロナウイルス感染症の影響による市税収入の減少が予想され、財政的にも厳しさが増えますが、将来を見通して健全財政をお願いします。

【農林部】

□若者の地元定着に向けた事業として、農業面では獣医師を目指す学生への就学支援制度の創設、継続して新規就農者の育成・定着に対し総合的な支援を行います。林業面では「森林環境譲与税」を活用し、新たに林業事業体へ就業した林業従事者への移住や就労に対し支援を行ない、将来中津川市の「農畜産・林業」を支える人材確保を進めます。

■いくつかの重点項目があり、どれも重要ですが、農業分野の農業従事者の高齢化や後継者、担い手不足での農地の荒廃化鳥獣被害が深刻になっているため、確実な対策をお願いするとともに、庁内の連携も確実に行なうことが大切であると考えます。

【定住推進部】

□一人一人の市民が輝き、それぞれの地域を元気で活力あるものとしていくため、若者の地元定着・移住促進の強化に取り組むほか、地域の元気をつくる地域まちづくり活動の推進に力を入れてまいります。

■結婚と出産・子育てにもつながる支援として、若い方を対象とした、新たな住宅の取得支援制度が始まります。コロナ禍ではありますが、中津川に住む魅力をもとに発信していただき、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを期待します。

【政策推進部】

□リニア開業に向けて実社会基盤の整備として、交流と学びとにぎわいの拠点となる「(仮称)市民交流プラザ」の令和5年度オープンに向け、実施設計を完了し、工事に着手します。また、若者の地元定着に向け連携した取り組みを強化します。

■「(仮称)市民交流プラザ」は、幅広い年代の市民の皆さんに満足していただける、そして、訪ねて下さった観光客の皆様の中津川市の魅力を発信できる中心的な施設となることを期待します。

【病院事業部】

□令和3年度は「中津川市新公立病院改革プラン」のこれまでの成果を検証し、2025年の地域医療構想の実現に向けて、新たな改革プランを策定する年度となります。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、市民病院、坂下診療所、坂下老人保健施設において万全な感染対策をして診療などを継続することが重要と考えています。市民病院は医師確保の取組みと経費削減などによる経営の健全化を行ないます。坂下診療所は地域の医療の要(かなめ)として、引き続き収益改善を行ないます。坂下老人保健施設は要介護者の受け入れと在宅復帰の支援施設として充実を図ります。

■新型コロナウイルス感染症対策を行ないながら病院、診療所を安定的に運営することは容易ではないと認識しています。同時に医療体制の確保が市民の安心にもつながるため、医療従事者のケアなども十分に行ないながら病院経営を行なっていこうをお願いします。

【市民福祉部】

□新型コロナウイルスワクチン接種事業を確実に実施します。

障がい者事業は今年度から始まる第6期障がい者福祉計画をもとに推進してまいります。高齢者福祉・介護保険では第8期高齢者福祉・介護保険事業計画に基づき、介護予防、生活支援事業などを推進します。マイナンバーカード取得推進事業、健康づくり事業、新斎場建設事業なども引き続き取り組んでいきます。

■新型コロナウイルスワクチン接種が確実かつ迅速に行なわれる事が市民の安心・安全にもつながると考えます。市民福祉部が中心となって全庁で取り組んでいただくようお願いいたします。引き続き市民の相談窓口として、子どもから高齢者まで福祉や健康づくりへのきめ細かい対応をお願いします。

予算決算委員会報告 (補正予算)

⑤ 早期発注のための事業

8,570 万円

〈主な事業〉

■高齢者福祉施設等運営事業	30,209 千円
■公民館総務事業	20,416 千円
■体育施設維持管理事業	13,353 千円
■小学校施設営繕事業	5,269 千円
■消防施設建設事業	3,572 千円
■防災情報システム事業	2,607 千円
■鉱物博物館事業	2,577 千円
■道路維持補修事業	2,500 千円
■道路新設改良事業	2,500 千円
■保育所施設営繕事業	1,650 千円
■中山道歴史資料館事業	548 千円
■東山魁夷心の旅路館事業	500 千円

⑥ 基金積立のための事業

4 億 28 万円

〈主な事業〉

■減債基金管理事業	400,000 千円
■リニア中央新幹線まちづくり基金管理事業	199 千円
■教育基金管理事業	76 千円
■介護保険事業会計	9 千円

令和3年3月補正予算(その2)の概要 (3月16日)

■編成方針

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている指定管理者等が管理する市有施設の維持に必要な経費を管理事業者へ支払うための補正を行いません。

⑦ 人件費の補正

3 億 3,001 万円

〈主な事業〉

■職員給与費 (一般管理費)	205,093 千円
■坂下診療所繰出金事業	32,929 千円
■坂下老人保健施設繰出金事業	27,482 千円
■職員管理費	4,091 千円

⑧ 事業費等の精算又は不用額の減額を行なう事業

△1 億 1,818 万円

〈不用額〉

■農地・農業用施設災害復旧事業	△57,000 千円
■法人保育所事業	△55,856 千円
■土地改良整備事業	△45,000 千円
■商業振興事業	△40,000 千円
■リニア中央新幹線関連道路整備事業	△38,000 千円

〈精算〉

■障害者総合支援給付事業	103,296 千円
■商業振興事業	13,230 千円
■母子保健事業	382 千円
■私立幼稚園助成事業	276 千円
■法人保育所事業	99 千円
■国民健康保険事業 (事業勘定)	395 千円

■補正の規模 (一般会計)

4,420 万円

〈主な事業〉

■観光施設管理事業	36,000 千円
■地域活性化施設管理事業	3,346 千円
■畜産センター管理事業	4,684 千円
■体育施設維持管理事業	167 千円

予算決算委員会報告 (補正予算)

令和3年 3月補正予算の概要

(2月25日)

■補正を行なう会計

●一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15億8,094万円

●特別会計

国民健康保険事業会計(事業勘定)・・・・・・・・40万円

介護保険事業会計・・・・・・・・・・・・・・・・6,390万円

●企業会計

病院事業会計・・・・・・・・・・・・・・・・6,041万円

合計 17億565万円

① 国・県補助金等を活用する事業

4 億 8,645 万円

〈主な事業〉

■青木斧戸線道路整備事業	142,000 千円
■橋りょう新設改良工事	121,000 千円
■障害者総合支援給付事業	90,925 千円
■道路維持補修事業	31,000 千円
■亜炭鉱害対策事業	23,093 千円
■法人保育所事業	14,713 千円
■農場実習事業	648 千円
■介護保険事業会計	63,066 千円

② 新型コロナウイルス感染症対策事業

1 億 3,855 万円

〈主な事業〉

■商業振興事業	95,388 千円
■学校健康管理事業、阿木高校管理事務事業	29,200 千円
■社会福祉総務事業	10,450 千円
■児童発達支援事業	1,480 千円
■若者の地元定着推進事業	1,455 千円
■図書館総務事業	577 千円

③ 寄附金を財源とする事業

121 万円

〈主な事業〉

■文化振興事業	500 千円
■中学校運営事業	500 千円
■庁舎消防車等維持管理事業	212 千円

④ 緊急対応が必要な事業

3 億 8,163 万円

〈主な事業〉

■小学校建設事業	181,171 千円
■坂下診療所繰出金事業	137,000 千円
■坂下老人保健施設繰出金事業	43,000 千円
■急傾斜地崩壊防止事業	7,950 千円
■中津川公園管理運営事業	2,420 千円
■にぎわいプラザ運営事業	612 千円
■社会福祉総務事業	611 千円
■福祉手当事業	80 千円
■小学校運営事業	77 千円
■介護保険事業会計	825 千円

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの3月補正【概要】をご覧ください。



予算決算委員会報告（補正予算）

■繰越明許費の補正一般会計で 2,538,766 千円

それぞれの事情によりやむを得ず繰り越して執行します。

I、国の補正予算を活用し、R3年度実施予定分に R2年度から取り掛かり、繰り越して実施する事業

◆一般会計（追加）	215,561 千円
①橋りょう新設改良工事	121,000 千円
②亜炭鉱害対策事業	38,713 千円
③道路維持補修工事	31,000 千円
④学校健康管理事業	27,600 千円
他 2 事業	
◆一般会計（変更）	142,000 千円
青木斧戸線道路整備事業	

II、早期発注のため予算化したものであり、翌年度に繰り越して実施する事業

◆一般会計（追加）	85,701 千円
①高齢者福祉施設等運営事業	30,209 千円
②公民館総務事業	20,416 千円
③体育施設維持管理事業	13,353 千円
④小学校施設営繕事業	5,269 千円
⑤消防施設建設事業	3,572 千円
⑥防災情報システム事業	2,607 千円
他 6 事業	

III、その他やむを得ない事情により、事業完了が翌年度となる事業

◆一般会計（追加）	1,092,680 千円
①橋りょう新設改良工事	364,900 千円
②小学校建設事業	207,439 千円
③リニア駅周辺土地地区画整理事業	93,771 千円
④河川改修事業	70,470 千円
⑤雇用対策事業	69,798 千円
⑥道路新設改良事業	36,900 千円
⑦河川災害復旧事業	31,340 千円
⑧法人保育所事業	30,953 千円
他 15 事業	
◆一般会計（変更）	1,002,824 千円
①青木斧戸線道路整備事業	402,307 千円
②リニア中央新幹線関連道路整備事業	293,204 千円
他 3 事業	

■債務負担行為の補正

①小学校運営事業、中学校運営事業	限度額 4,356 千円
------------------	--------------

■附帯決議について

2月25日提出の一般会計補正予算（第16号）中、歳出予算の小学校建設事業「（仮称）新ふくおか小学校の木材調達」については、下記の附帯決議案を全会一致で可決しました。

1. 校舎の建設費及び維持管理費について、木造及び非木造の比較資料の提示と木造に決定した理由を明確に示すこと。
 2. 地元での良質な木材調達の具体的な計画と手法を明確に示すこと。
 3. 市内小中学校の再編計画と今後の建築手法の基本的な考え方を示すこと。
- 令和3年2月25日
予算決算委員会

3月定例会は41議案が上程され、本会議初日に専決処分の報告を承認、人事4件に同意し、条例1件、その他議案3件、補正予算4件を原案どおり可決しました。残りの28議案は各常任委員会に付託し、最終日、各常任委員長から審議結果報告後、採決した結果、原案どおり可決されました。

専決処分の承認について

（全会一致）

緊急対応が必要な事業で、市議会を招集する時間的余裕がなかったため専決された補正予算を承認しました。内容は次のとおりです。

■補正の主な内容

◎ふるさと納税の年間寄附金額が予算を上回る見込みとなったため、基金積立金、また、返礼品に係る費用などを増額したものです。

◎この冬の低温と積雪により融雪剤散布と除雪の委託費用が不足する見込みとなったため、補正したものです。

◎新型コロナウイルスワクチンを接種するため、接種券の印刷・予防接種システムの改修・コールセンターの設置等、接種費用を補正したものです。

中津川市福祉医療費助成に関する条例の制定

（全会一致）

健康保険法等の一部を改正する法の施行により、令和3年3月1日よりマイナンバーカードを健康保険証として利用できるようになり、オンラインで資格確認が開始されることになったため、受給資格者の確認に関する条文を追加するものです。また、国の示す条例に合わせ全部改正を行なうため、改めて条例を制定するものです。

中津川市介護保険条例の一部改正について

（賛成多数）

第8期介護保険事業計画の策定に伴い、令和3年度から5年度における介護保険料を、第7期と比較して基準月額500円増額する見直しなどを行なうため、改正するものです。

中津川市国民健康保険条例の一部改正について

（全会一致）

これまでの「暫定」並びに「確定」の2つの賦課方式を、確定賦課方式に一本化し、納期が8月から2月までとなっているものを、6月から3月までとするよう改正するものです。

中津川市個人情報保護条例の一部改正について

（全会一致）

GIGAスクールの構想における一人一台のタブレット端末設定に対応するため、現在、原則として禁止されているオンライン結合を、十分な保護措置が取られている場合に限り行うことができるよう改正するものです。

中津川市教育委員会委員の任命同意について

（全会一致）

三尾和樹さんの任期が令和3年3月31日に満了となりますので、引き続き任命するものです。



中津川市公平委員会委員の選任同意について

（全会一致）

氷室茂さんの任期が令和3年3月31日に満了となりますので、引き続き選任するものです。



人権擁護委員候補者の推薦について

（全会一致）

青山健一さんの任期が令和3年6月30日に満了となりますので、引き続き推薦し、松井勝広さんを新規に推薦するものです。



青山健一さん



松井勝広さん

中津川市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部改正について

(賛成多数)

3年に1度行なわれる介護報酬の改定と併せて、厚生労働省令の基準等が改正されたことに伴い、関係する4条例を改正するものです。

- ◎改正内容：感染症対策の強化の義務化
- ・業務継続計画に向けた取り組みの強化の義務化
- ・ハラスメント対策の強化の義務化など

中津川市福岡ふれあい文化センターの設置等に関する条例の廃止について

(全会一致)

市有財産（施設）運用管理マスタープランの再編方針により、令和2年度末に用途廃止する施設として定められている福岡ふれあい文化センターを廃止するものです。

中津川市国営土地改良施設等の維持管理に関する条例の制定について

(全会一致)

国営造成施設等の維持管理を適切に行ない、持続的な農業生産の維持及び農地の保全を図ることを目的に制定するものです。

中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例及び中津川市文化スポーツ施設等使用料等徴収条例の一部改正について

(全会一致)

中津川市加子母ふるさと第1体育広場、中津川市福岡西運動場及び中津川市福岡曙ゲートボール場を廃止し、並びに中津川市勤労青少年ホームを中津川市サンライフ分館としてスポーツ施設に位置付けるため、改正するものです。

「中津川市サンライフ分館」の使用料

区分	単位	金額	
中津市サンライフ分館	多目的室	午前	300円
		午後	400円
	夜間	400円	
体育室	1時間につき	350円	

中津川市市営住宅条例等の一部改正について

(全会一致)

空き家の解消及び若者の移住定住促進につなげるため、特定公共賃貸住宅広島野団地の一部（19棟のうち3棟）を特定公共賃貸住宅から単独住宅へ用途を変更することで入居要件を緩和するため及び民法改正に伴い、敷金の定義が明記され、未払債務弁済への充当ができる旨等の条文の追加などを行なうため、改正するものです。

中津川市市営住宅の目的外使用に係る使用料徴収条例の制定について

(全会一致)

空き家、空き室となっている市営住宅を「移住希望者支援用住宅」、「配偶者からの暴力被害者や児童虐待の被害者等の救済」、「災害被災者の救済」等の目的で有効に活用するため、地方自治法に規定する目的外使用させる際の使用料の額、徴収方法、減免等について定めるものです。

工事請負契約の締結について

(全会一致)

- ・工事名 中津川市環境センターガス化溶融施設基幹設備延命化工事
- ・契約の方法 随意契約
- ・契約金額 1億6千8百2万5千円
- ・契約の相手方 神戸市中央区脇浜町1丁目4番78号 株式会社 神鋼環境ソリューション

工事請負契約の変更について

(全会一致)

- ・令和3年度施工予定箇所を国の追加補正で予算確保することが出来たこととし、撤去に要する費用を減額するものです。
- ・工事名 恵那峡大橋補修工事
- ・変更前契約金額 2億5千8百50万円
- ・変更後契約金額 2億3千5百71万6千8百円
- ・契約の相手方 中津川市 中津川字下沢2337番地の2 株式会社 梅田組

中津川市産業動物獣医師養成修学資金貸付条例の制定について

(全会一致)

中津川市での就業意思のある人材の修学を支援するため、獣医師免許取得を目指す獣医学部の学生に対し、将来の獣医師確保につなげるため制定するものです。

- ・貸付対象者：大学等の獣医学部に在学している学生で、卒業後2年以内に獣医師免許を取得し、獣医師免許取得後1年以内に中津川市が指定する機関に就業する意思があること
- ・貸付金額：月額10万円、無利息
- ・貸付期間：大学等の正規修学期間（最大6年間）
- ・返還免除の要件：獣医師免許取得後1年以内に市の指定する機関へ産業動物獣医師として、修学資金貸付期間の2分の3に相当する年数従事した場合

工事請負変更契約の締結について

(全会一致)

- ・工事名 神坂スマートインテリチェンジ^{かんま}函室設置工事（その2）
- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約金額 変更前 1億4千80万円
変更後 1億7千3百33万6百円
- ・契約の相手方 中津川市千旦林1585番地の19 株式会社 加藤工務店

市道路線の認定・変更について

(全会一致)

- ・認定路線 苗木219号線
落合148号線
- ・変更路線 落合131号線
- 市道餅穴1正ヶ根線

下柏原辺地に係る総合整備計画について

(全会一致)

- ・計画区域 中津川市下柏原地域（福岡）
- ・計画期間 令和3年度から令和7年度まで
- ・計画内容 スクールバス整備事業

中津川市積立基金条例の一部改正について

(全会一致)

中津川市中小企業小口融資条例に基づき小口融資を受けた中小企業者で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する利子補給制度の財源として、地方創生臨時交付金を活用するため、基金を設置するものです。



▲今年もつるしひなが議場に彩りをそえました

北部辺地に係る総合整備計画について

(全会一致)

- ・計画区域 中津川市北部地域（加子母）
- ・計画期間 令和3年度から令和7年度まで
- ・計画内容 県営かんがい排水事業、県営ため池等整備事業、林道長河線整備事業

第三次中津川市環境基本計画の策定について

(全会一致)

- ・変更内容 1. 環境に係る国、県の動向を最新の内容に変更（SDGs、パリ協定等）
- 2. 本計画の基本方針ごとに関係するSDGsのアイコンを標記
- 3. 中津川市における環境の状況や課題を最新の内容に変更
- 4. 計画前期（平成28年度～令和元年度）の施策の評価
- 5. 環境指標の見直し
- 6. 個別施策の見直し

市民の方から中津川市議会へ提出された請願書

請願書「地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願」

(1) 請願の要旨

中津川市に納付される地方たばこ税の一部を、毎年予算計上の上、次のとおり分煙環境整備等に充てられることを強く求めます。

中津川市が所有・管理するいくつかの公共施設・場所のうち、その利用者から管理者のもとへ要望が寄せられている施設・場所において、または集客が多い施設・場所において、非喫煙者・喫煙者双方に配慮した箇所に喫煙場所を設置すること、および当該喫煙場所の日々の維持・管理をおこなうこと。



※請願の理由の全文は、市ホームページをご覧ください。

(2) 請願の理由(抜粋)

＜前略＞

さらに見逃せないのは、高額なたばこ税を負担している喫煙者の皆さんがたいへんつらい思いを強いられており、これについて私どもは行政に対して何らかの配慮を講ずるよう提言せざるを得ません。前述、改正健康増進法の全面施行により、喫煙者の皆さんは、飲食店をはじめとする第二種施設の多くで、屋内では一服を楽しむことができなくなってしまいました。しかたなく屋外に出て一服されているようですが、これはこれで望まない受動喫煙が生じたり、吸い殻のポイ捨て・歩きたばこの横行、さらに火災すら危惧されるどころです。

私どもは、継続的安定的に税収を確保する観点から、また望まない受動喫煙の防止および環境美化の観点から、喫煙者を一方的に排除するのではなく、必要な場所に、必要な数の喫煙場所を適切に設け、非喫煙者と喫煙者が仲良く共存する環境を整えることが大切だと考えます。これは、望まない受動喫煙その他迷惑を防ぐことから非喫煙者の皆さんからも歓迎される施策ではないでしょうか。

＜中略＞

令和2年度与党税制改正大綱において、「望まない受動喫煙対策や今後の地方たばこ税の安定的な確保の観点から、地方たばこ税の活用を含め、地方公共団体が積極的に屋外分煙施設等の整備を図るよう促すこととする。」とされており、これを受けて、総務省自治税務局からも各自治体に対し、屋外分煙施設等の整備を図るために積極的な地方たばこ税の活用を検討を求める通知が発信されています。

以上の趣旨に基づき、本事項を強く請願いたします。

総務企画委員会意見

改正健康増進法にのっとり、適切な喫煙場所を設け、維持管理を行なわなければいけない。税制改正大綱や総務省自治税務局の通知の内容からも、地方公共団体が積極的に屋内外分煙施設等の整備を図るために、地方たばこ税の活用を検討することとされており、採択すべきとの意見がありました。

指定管理者の指定 (全会一致)

施設の管理を指定管理者に行なわせるため指定するものです。

施設名	指定先	指定期間
苗木公民館	苗木地域まちづくり推進協議会	令和3年4月1日～令和6年3月31日
付知公民館 アートピア付知芸芸プラザ	付知町まちづくり協議会	

指定管理者の指定の変更について (全会一致)

指定管理施設の名称及び位置が次のように変更になります。

	変更前	変更後
名称	中津川市勤労青少年ホーム	中津川市サンライフ分館
位置	中津川市手賀野172番地	中津川市手賀野173番地の1
指定先	三菱電機ライフサービス株式会社中津川支店	

提出議案について、詳しくは市ホームページの「提出議案」をご覧ください。



賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派 氏名	中津川自民クラブ										共産	市民ク	公明	無	新	ネ	議決結果				
		鷹見憲二	大堀泰延	勝彰	岡崎隆彦	吉村浩平	柘植貴敏	島崎保人	水野賢一	吉村孝志	長川透								宮崎春明			
令和3年度 中津川市一般会計予算		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和3年度 中津川市国民健康保険事業 会計予算		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和3年度 中津川市介護保険事業会計 予算		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和3年度 中津川市後期高齢者医療事 業会計予算		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和3年度 中津川市病院事業会計予算		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
中津川市介護保険条例の一部 改正について		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
中津川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部改正 について		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
請願書「地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願」		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	採択

※共産：日本共産党、市民ク：市民クラブ、公明：市議会公明党、無：無党派、新：新政会、ネ：市民ネット

常任委員会報告

◆産業建設委員会

【協議会】
1月21日

○執行部への申し入れに対する回答について

昨年実施した「新型コロナウイルスの影響による市内経済界の現状についての調査」をまとめ、執行部に対して申し入れを行なったところ、つぎのとおり回答がありましたので、概要について報告します。

○回答

- ・感染拡大防止には、with/after コロナを見据え、長期的に取り組めます。
- ・公共事業の予算確保を国・県に要望します。
- ・雇用調整助成金の上乗せ補助や企業説明会の開催等、企業を知ってもらう機会を増やします。
- ・新たな事業展開を図ろうとする事業者に対して、商工団体と連携して支援します。
- ・市民や事業者が迷うことのないよう分かりやすいワンストップサービスに努めます。
- ・中期事業実施計画の中の大規模事業は、市税収入等の影響を踏まえ、柔軟な対応を図っていきます。

◆総務企画委員会

【協議会】

1月29日・2月12日・3月1日・3月16日

○総務企画委員会では、コロナ禍における地域防災計画の課題と改善点などについて協議を重ね、申入書としてまとめ3月23日正副委員長から執行部に対して申し入れを行いました。

総務企画委員会から中津川市へ提出された申入書

「コロナ禍における地域防災計画の運用に係る申入書」

1. 新型コロナウイルス感染症の下での避難の在り方やその方法など、市民への啓発・周知がまだ浸透していない。既に作成した資料を有効活用し、市民への啓発・周知をさらに進めていきたい。
2. 避難所運営については、行政・地域・個人の役割が不明確であるため、役割を明確にするとともに、市民への周知をさらに進めていただきたい。
3. 避難所運営マニュアルは、それぞれの地域の実情に沿ったマニュアルが作成されるべきであるが、市内88か所の避難所のうちマニュアルが作成されているのは30か所（現在作成中4か所）である。マニュアル作成にあたっては、地域住民へ避難所運営の在り方や、行政・地域・個人の役割と協働について明確にし、市民へ理解を求めよう働きかけるとともに、全地域の早期策定に向けマニュアル作成を支援していただきたい。
4. 外国人に対する災害発生時の避難対応については、各企業の協力のもと、啓発を行なっているが、コロナ禍での避難対応並びに避難所での対応についても各企業の協力を得ながら、啓発・周知を進めていただきたい。



常任委員会報告

◆文教民生委員会

【協議会】

1月28日・2月12日・3月11日

○教育環境の整備認定ごども園について

中津川市立公立保育所等連絡会及び坂本ごども園の先生方との懇談会を開催し、各委員の意見の中から課題を

- ・指導案策定について
- ・支援を必要とする子どもについて
- ・職員会議について
- ・募集定員について
- ・全体について

など、項目別に表にまとめ、執行部との懇談会を経て議論を深め、課題を精査しました。その結果をまとめ上げ、文教民生委員会の意見として執行部に申し入れできるよう進めていきます。



特別委員会報告

◆議会改革特別委員会

【中間報告】

1月21日・2月17日

○オンライン会議について

議会改革特別委員会では新型コロナウイルス感染症防止を想定して、令和2年度よりオンライン会議の検討を始めました。まずは試行として、1月・2月の議員連絡協議会をビデオ会議アプリ「Zoom」を使用しオンライン会議を開催しました。中津川市議会では全議員にタブレットが貸与されていますがスキルアップのためにパソコン、タブレット、スマホのいずれかで対応しました。

オンラインによる本会議の実現については地方自治法改正が必要となり、すぐには実現が出来ませんが議会としてのオンラインツール活用については議会報告会や意見交換会など市民とのコミュニケーションにも使えることから検討を始めています。

（表紙の写真は2月17日の様子）

◆病院・医療対策特別委員会

3月15日

○中津川市公立病院評価委員会及び中津川市公立病院地域協議会報告について

令和2年11月26日の令和2年度第1回評価委員会にて「中津川市公立病院改革プラン」の令和2年度検証についてアンケートのお願いについての説明がありました。

令和3年1月21日の令和2年度第2回評価委員会にて令和2年度中津川市評価委員会提言書（案）とアンケートの集計一覧表について資料の説明がありました。

- 評価内容1…入院機能について
 - 評価内容2…外来診療科について
 - 評価内容3…診療機能について
 - 評価内容4…旧坂下病院の民営化について
 - 評価内容5…市民病院の民営化について
- 地域協議会での意見の説明のち、質疑応答と各委員の意見交換を行いました。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は10人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

会議録はこちら



(教育委員会事務局長)

幼児教育・保育施設適正配置計画案について

木下 律子

問

10年計画でもとも園化・統廃合・民営化を一気に進め公立保育園・幼稚園・こども園20園を12園にする計画案です。2月1日にホームページで発表し、わが市が1か月でパブリックコメントが終わり、

①計画のままであれば1か月もたらず4月から、検証も不十分のままこども園化の準備に入ります。なぜ急ぐのですか。
②この計画で経費はどれだけ削減されますか。

答

①幼稚園しかない地域、保育園しかない地域などの施設配置の偏りがあり、均等な幼児教育・保育を提供する環境が十分ではありません。こうした状況を早く解消するため、坂本こども園の成果と課題等を踏まえて、準備にとりかかってまいります。
②今回の計画は経費削減ではなく、子どもたちによりよい保育環境を提供するために策定するものです。維持管理費については年五千万円程度の減少と考えております。

コロナウイルスワクチン接種について

田口 文数

問

岐阜県は3月中旬以降に医療従事者向けに優先接種が始まり、4月以降に高齢者、一般向けは5月以降に基礎疾患の方を優先に接種予定を2月9日に発表しました。
①供給量の分配が、どのようになるか不透明ですが、クーポン券の配布予定、また予約の期間や時間はどうなりますか。
②接種会場まで行けない高齢者、入院患者や在宅で寝たきりの方の対応はどのようにになりますか。

答

①4月初旬からクーポン券を送付予定ですが、高齢者施設の入所者から発送します。予約は4月以降を想定しております。コールセンターは午前9時から午後5時まで予約を受け付けますが、ホームページでは随時予約受付できるよう調整しています。
②入院の方は入院施設で接種を行ない、在宅で寝たきりの方は、恵那医師会にご協力いただき、訪問診療の医師が接種できるように体制を整えていきます。

(市民福祉部長)



令和3年度予算について

長谷川 透

問

コロナ禍の影響により市税の減少はありますが、交付税の増額、臨時財政対策債の増額があり、一般財源が確保されています。今後交付税の減少が懸念される中、大型事業が多く計画されています。有利な合併特例債も、令和6年で終了します。
①今後、どの様に健全財政を維持し事業を進められるか伺います。
②各基金の残高及び繰出し計画について伺います。

答

①合併特例債の期間終了後を見据えて積み増しを行なってきたリニア中央新幹線まちづくり基金及び公共施設整備運営基金を、大型事業や施設の大規模改修等に活用していきます。
②大型事業等にはリニア中央新幹線まちづくり基金等を、臨時的な支出が必要となる場合には財政調整基金を活用します。なお、基金残高は、リニア中央新幹線まちづくり基金が約33億円、公共施設整備運営基金が約19億円、財政調整基金が約39億円です。

(理事)



(仮称)市民交流プラザについて

牛田 敬一

問

市民交流や学びの拠点となる(仮称)市民交流プラザが建設されます。基本理念は「ひと、まち、未来を元気にする交流と学び」とにぎわいの拠点」と掲げています。

交流プラザを運営するにあたり、最も大切にしたいことは何ですか。

答

市民交流プラザは、市民や来訪者、また幅広い世代が様々な目的で利用するにぎわいの拠点であり、そこににぎわいを点から線、面へと広げていく必要があります。
そのためには、子育て支援・市民交流・学び・観光の4つの機能が連携して、ここに集うことで利用者を楽しんでもらいたい、「こんな場所があったよかった」と喜んでもらえるよう、市民交流プラザを「いつも何か楽しいことをやっている場所」にするようなソフト面の企画を充実し、これを継続することが大切だと考えております。

(政策推進部長)



地域観光振興について

粥川 茂和

問

市内のキャンプ場は、指定管理や民間事業者への貸与となっており、運営状況は良好な所ばかりではありません。また市有財産管理運営マスタープランでは、殆どの施設を民間移譲としていますが、振興方針について、市との協議は進んでいません。

本市の観光事業の目的と、行財政改革も考えあわせ、こうした観光地の振興策についての所見を伺います。

答

キャンプ場は、にぎわいや交流を生むものであると同時に豊かな自然を背景にした本市の特性を活かす資源であり、地域の活性化に寄与するものと認識しています。
マスタープランによる民間移譲は、民間の知見による施設の有効活用、経営の効率化を期待したもので、行政が運営又は保有しなくなった場合でも、事業者や地域と連携して誘客を図り、地域の振興につなげていきたいと考えています。

(商工観光部長)



コロナ禍における事業者支援及び雇用に ついて

糸魚川伸一

問 新型コロナウイルスは第3波と言われる感染拡大により2回目の緊急事態宣言が発令されました。新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見通しのつかない状況が続く中で、支援を必要とする事業者があれば更なる延長等保策を実施すべきだと思います。見解を伺います。

答

国のセーフティネット保証の認定期間に合わせ、小口融資制度の新型コロナウイルス対応を延長してきました。今後も国の対応状況を見据えて延長について検討してまいります。また、事業所を安心して利用いただけるよう施した対策等に要した費用に対する補助制度を令和3年1月まで実施してきましたが、継続して行なう必要があるため、支援内容を拡充して3月から実施します。以上のように、市内の経済状況により必要な対策支援を実施してまいります。
(商工観光部長)



林業振興施策について

三浦 八郎

問 適切な森林管理をするには、間伐事業が重要になります。事業者への外部委託だけではなく、自ら木を伐る自伐型林家や自伐型林業を推進することも必要だと思います。自伐型林業の推進に取り組む自治体は増えてきています。中津川市としても自伐型林業についての講習会・研修会の開催や、自伐林家や自伐型林業を対象とした安全衛生特別教育講習の開催モデル林の整備、作業道づくりに対する補助事業などに取り組まれてはどうか。

答

自伐林家や自伐型林業に取り組む小規模事業者の皆さんにも、チェーンソーなどの作業従事者特別講習や、伐木など作業従事者の安全衛生特別講習を講習していただけるように、森林環境譲与税を活用した助成を考えていきます。市職員向けにつきましては、技術が確実身に付いているわけはありませんので、森林環境譲与税を使えるように考えています。
(森林部長)



行政手続きのオンライン化及び押印見直し について

大堀 寿延

問 行政のデジタル化推進計画は中津川市の重要な改革と捉えています。推進に当たっては住民サービスの向上や庁内の業務の効率化、職員組織の向上といった観点で目標を設定し、組織、業務、システムの改革を進めていく事になります。新しい市政のあり方を再構築しそれに向けて改革を推進していくプロジェクトです。市長がデジタル化に取り組む強い意思を持ち体制に反映されることを望みますがいかがですか。

答

市では将来に向けてデジタル化の活用、またシステム構築の取り組みを進めていきます。行政のデジタル化は今や自治体における大きな政策課題ですが、昨年実施しました特別定額給付金の支給作業では人かいた術に頼ったところが多くありました。システムがしっかり構築されることで迅速な対応が行なえる、そのような場面がこれからの時代は多くなると思います。そうした中で県内でも先駆けてデジタル化の推進に力を入れて取り組んでいます。
(市長)



災害時の排泄物・汚物の廃棄 収集について

黒田 ころ

問 災害時、避難所や避難といえは真っ先に食料・飲料水の準備があげられます。しかし口から摂取すれば次に来るのは排泄です。この排泄物・汚物等は感染症予防からも各家庭での処理は難しく、また可燃ごみと一緒のゴミ出しはゴミ収集車も大変なことになります。①災害時のし尿・汚物等の具体的な回収方法を伺います。②市民への周知はどのように考えていますか。

答

①災害廃棄物基本計画では、感染性廃棄物、使用済み簡易トイレ、腐敗性廃棄物の順です。し尿等液状化の排泄物はし尿収集車両で、使用済み簡易トイレ等のし尿・汚物は、別途ごみステーションで回収します。②簡易トイレ使用のポリマーで固めたし尿・汚物を通常とは別に回収する点は、今後、市広報紙で周知する他、区長会や住みよ環境づくり推進員、防災士会などのお力もお借りしたい。
(環境水道部長)



原子力発電所の奇酷事故について

鷹見 信義

問 東日本大震災10年を振り返りながら「原発ゼロ」の実現に向けて、原子力発電所の現状や福島原発の奇酷事故対応・避難状況 再生可能エネルギーについてうかがいます。①原発事故対応マニュアルはどのようになっていますか。②再生可能・自然エネルギーの市の状況はどのようになっているか伺います。

答

①市では、原発事故に特化したマニュアルは整備していません。ただし、中津川市地域防災計画の中に原子力災害対策を盛り込んでいます。内容は、災害予防計画として、想定される原子力災害の影響や災害応急対策、災害復旧への備えなどや、災害応急対策として、災害直後の情報収集・連絡体制、避難収容活動などについて記載しています。
(理事)

②中津川市では、太陽光発電が約96%を占めており、残り4%が小水力発電という状況です。
(環境水道部長)



市議会の様子を 映像配信しています。

中津川市議会の本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継と録画映像をご覧になれます。

ライブ中継

本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継を視聴できます。

録画映像

録画映像を、会議名・会議日・議員名・フリーワードの条件で検索して視聴できます。パソコンの他、スマートフォン、タブレットの視聴も可能です。

市議会への直行使

市のホームページには、市民の皆様からの声をいただく「議会への直行使」があります。皆様の声をお待ちしています。





地元の企業を知ろうと令和2年12月4日に、岐阜県立坂下高校の生徒が、市内の企業3社を見学しました。中津川市も地元の若者定着を主要施策のひとつにしています。

一人でも多くの高校生が地元の企業に就職してほしいです。

選挙権が18歳以上となったことから、「議会だより」を高校生にも読んでいただき、市政に関心を持ってもらおうと、昨年度から市内の各高校に届けています。

岐阜県立中津高校にも伺い編集委員から校長先生にお渡ししました。先生からは、「各クラスに一部づつ置かせて頂きます。」とのお話をいただくことができました。



令和3年6月定例会の日程

- 6月3日(木) 10時 本会議(初日)
- 6月14日(月) 10時 一般質問
- 6月15日(火) 10時 一般質問
- 6月17日(木) 10時 産業建設委員会
- 6月18日(金) 10時 総務企画委員会
- 6月21日(月) 10時 文教民生委員会
- 6月22日(火) 10時 予算決算委員会
- 6月28日(月) 10時 本会議(最終日)

議会開催状況 12月23日～3月26日

- 本会議 (4回)
- 総務企画委員会 (3回)
- 文教民生委員会 (2回)
- 産業建設委員会 (2回)
- 予算決算委員会 (5回)
- 議会運営委員会 (6回)
- 議会改革特別委員会(協議会含む) (2回)
- 病院・医療等対策特別委員会 (1回)
- 議員連絡協議会 (2回)
- 全員協議会 (1回)

編集後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症により学校等が休校になり、様々な活動や行事等が中止となり、経済活動も大きな影響を受けました。市議会も感染対策を徹底し、本会議、一般質問、各委員会など今まで通り行ないました。特にコロナ対策については、実施に向け迅速に審議してきました。

令和3年度は、ウイルスの変異種の不安もありますが、感染予防対策の徹底やワクチン接種により、医療従事者等への負担軽減を図り、慎重に議会活動を進めていきます。

また、市のホームページ「議会への直行便」で市民の皆様からの声をいただきながら、コロナ禍でもわかりやすい議会を目指して皆様にお伝えしていきます。



▲市の木 こうやまき